

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2013/01/15

Vol.31

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) http://togu.seesaa.net/ (ブログ)

平成 24 年第 4 回印西市議会定例会報告 (3)

～ 病院問題：二次救急医療体制はどうなる？

あけましておめでとうございます。昨年はお世話になりました。本年も市政発展のために尽力してまいります。今回も印西市議会第4回定例会（12月議会）についての報告を行ないませんが、多くの市民の皆様がどうなるの？を聞いてくる表題の件について、まとめて、ご報告いたします。

12/5(水曜日)に一般質問に立ちました。

以下、市当局への質問と回答です。

2. 「印西総合病院」の開院と印西市の協力体制について

印西総合病院が来年1月7日（月）に開業することが発表された。長い間、入院施設をもつ病院を切望していた印西市であるが、印西市は「印西総合病院」に対してどのような協力体制をとっていくのか。

(1) 産科・婦人科・小児科に対する救急医療体制の整備は地域社会にとって求められるものであるが、印西総合病院では救急医療体制の構築は開業と同時にできるのか。

【回答／健康福祉部長】 印西市内の新たな病院として、牧の台1丁目において産婦人科及び小児科を中心とする「印西総合病院」が平成25年1月7日の開院を目指し準備を進めているところであります。議員ご質問の開業時における救急医療体制については、医療法人緑生会に確認しましたところ医師等のマンパワーを含めた職員体制等々周囲の環境が整い次第行いたいとのことですが、開業と同時にできるかはまだ未定とのことでございます。

【ぐんじとしのりから市民の皆様へ】 本年1月7日に開院しましたが、産婦人科、小児科を中心とした診療になり、「病児・病後児保育」の開始も遅れるとのこと。

(再質問) 市長は、二次救急についてどのように考えているのか。

【回答／市長】 私は、印西市として迅速に取り組まなければならない課題の一つとして、市内に二次救急病院をつくることがあります。救急搬送時間は速やかに短縮しなければならない、市民の安全・安心の大きな問題です。

平成25年1月7日開業予定の印西総合病院においては、市民が待ち望む二次救急病院としての役割が果たせるよう期待するものでございます。

(再質問) 緑生会から印西市長に二次救急の話をしたら、「それは勝手におまえらがやればいい」という言い方を市長はしている。<ぐんじ注／緑生会の事務長が市長に面会した際の会話からの質問です。> では、緑生会に二次救急をやってもらおう考え方はあるか、どうかそれを確認します。

【回答／市長】 もちろんあります、やってもらいたいです。

【ぐんじとしのりから市民の皆様へ】 印西市には病院の許認可権限はありません。そのうえで市長がいう「迅速に取り組まなければならない課題の一つとして、市内に二次救急病院をつくること」というのはどのようなことなのかを以下の再質問で追及しました。

(再質問) 確認します。緑生会の理事長と板倉市長でこの件（二次救急病院としての役割）につい

て話し合うつもりはありますか。

【回答／市長】 緑生会さんが総合病院をつくってくれる。非常にありがたいことだと思っています。それで、二次救急もやっていただければ、もちろんありがたいことでもあります。ただ、いろんな意味で財政的に多大なる支出をお願いしますよ、こういうことであれば、これはちゃんとした実績を持ってお願いするならばともかく、はじめから印西市さん、大方の相当の分をお金を出してくださいよ、これでは全く意味が違うと思います。それ相応の二次救急をちゃんとたちあげて、それから医療器等のいろんな支援とか、支援体制をお願いするというのであれば、私は考えなくもありませんけれども、ただ、今の段階でそれなりの支出をしてくれと。私聞きました。前の山崎市長とそれなりのそういうお話があったのですかと。黙りました。ありませんと言って。それならばいいけれど、ただ、今ここで二次救急をやるからそれなりのことを考えてくださいでは、私の方からは、即、OKですよという言葉は出しませんでした。それがどういうようにとらわれたかは知りません。冷たくあしらわれたかなというようにとったと思えば、それは仕方ないと思いますけれど、私は緑生会さんが手をあげて二次救急までやります、総合病院までやります、そういう形で入ってきた病院ですから、これしっかりとやっていただきたいと思います。

（再質問） しっかりとやっていただきたいというのは勿論だと思うのですが、板倉市長は自身の公約の中で「安全・安心を提供する」とか、「二次救急医療体制を構築する」と、このようなことを言っていますが、それは財政的な援助というのは考えていないのでしょうか。

【回答／市長】 今の段階では考えていない。

【ぐんじとしのりから市民の皆様へ】 印西市民に対する市長公約」をどのように説明するのでしょうか。 「二次救急医療体制を構築する」とは「許認可権限もない」印西市に何ができるのでしょうか。「構築する」というコトバの意味がわかっているのでしょうか。私自身、短い間の県議としての経験において、二次救急医療体制を構築するためには、自治体としての財政出動も考えるべきだと思いますし、印西市長の言う「それ相応の二次救急をちゃんとたちあげて、それから医療器等のいろんな支援とか、支援体制をお願いすべきではないか」を言うのであれば、そもそもの市長公約の迅速に取り組まなければならない課題の一つとして、市内に二次救急病院をつくることがありますという言葉とどう整合性をとるのがわかりません。（開設時に費用がかかるのは常識です。＝病院側は医療機器を導入するなど初期投資に多大なる投資をしなくてははいけません。）
続けて、以下のように参考までに他市の事例を聞きました。

（再質問） 八千代市が誘致いたしました東京女子医大の経緯について

【回答／健康福祉部長】 八千代市におきましては、現在の東京女子医科大学附属八千代医療センターを誘致するにあたりまして、病院用地、建設費のほか小児医療を含めた救急医療に関する運営費として、平成18年度から平成32年度までの間、毎年、1億円を補助していると聞いています。

（再質問） 医師等のマンパワーを含めた職員体制等々周囲の環境が整った場合、小児科等の救急医療について、印西市として財政支援できないものか。

【回答／健康福祉部長】 今時点では、小児救急という限定はできかねると思います。全体として救急医療が行なわれた場合というように、私どもの方では今、考えているところです。

【ぐんじとしのりから市民の皆様へ】 市長公約の中にある「安全・安心を提供する」、「二次救急医療体制を構築する」とは何を意味するのか？全くわかりません。 2月18日（月）から始まる定例市議会で確認を行なってまいります。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。（随時更新しています）市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり